

クリエイティブ ニュース

第14号 2011年2月
山形県東根市中央一丁目5番1号
タントクルセンター内

発行 NPO法人クリエイティブひがしね www.higashine.org TEL 0237-43-0731



けやきジュニア合唱団
コンサートを終えて

ふるさとの未来のために

理事長 菊地 和博

「NPO法人クリエイティブひがしね」も、早いもので発足以来6年目を経過しようとしています。この間、タントクルセンターの賑わいと実績を象徴する出来事が数々ありました。その一例として、猪口少子化担当大臣や皇太子殿下のご訪問がありました。また、表彰の面では「につけい子育て大賞」などの素晴らしい賞も東根市とともにいただくことができました。それは当センター内の子育てを始めとするユニークな各種事業が全国的に注目を浴び、大きな評価を受けてきた証にほかなりません。そのことは、各地方から視察研修の方々が来館されて、受付業務のスタッフも含めて、職員の皆さんの日頃の活躍ぶりをご覧になっていただいていることでもわかります。

一方では、企画員の皆さんも一緒になった多種多様

な部会活動等にも目を見張るものがありました。タントシニア楽々クラブ、だがしや楽校、源氏物語講座、タントクル映画会、麩料理教室、けやきジュニア合唱団活動、出前サロンなどなど……。ここでは書ききれないほど多くありました。

さらに、過去2年間、東根市委託事業として「タントクル親子遊びの学校」を開催することができました。その一つとして、「米作り・里山探検隊」が取り組まれ、沼沢地区の「活進会」の皆さんの多大なご協力をいただいて、親子で田んぼに入った田植えや稲刈りなど、ナマの実体験をすることができました。

今後も私たち「クリエイティブひがしね」は、子どもたちと地域社会の未来のために、持てる知恵と技を互いにみがきあって前進していきましょう。

タントクル親子あそびの学校 part3

ツリがいるぞ魚とい



自然の中で遊ぶことが大好きで、人とかわり、何事にもすすんで取り組む子どもをめざして、沼沢活進会との「米づくり・里山探検隊」、最上第2漁協組合との「魚とり」、東根市老人クラブ連合会との「いっしょにあそぶべ! じいちゃんばあちゃん」「六田のお神楽」など、親と子が地域の人々と共に「体験」「発見」「感動」「学びあい」ができる場を創造することを目的に取り組んでいます。親子・地域・スタッフみんなが「共に育つ」共育のネットワークをこれからもどんどん広げていきたいと思います! (村山恵子)

お神楽がきたぞ~

今年も三百年以上も前から伝えられてきた六田のお神楽がタントクルにやってきました。皆で昔にタイムスリップして束の間の楽しい一時を過ごしました。今年は親子で面作りをして、それをかぶって踊りも楽しむというワークショップも行いました。子供たちは、なかなかの絵の天才でした。

来年はもう一工夫を加えたいという講師陣やスタッフの意気込みに乞うご期待です。

(佐藤千恵子)



2010生涯学習フェスティバル



11月7日開催の22年度「生涯学習フェスティバル」に、クリエイトひがしねでは、全員参加を目指して6月から準備をすすめてきました。「のどじまん」「タントテリング」「マジックショー」「大抽せん会」のそれぞれ4部門にわかれての参加でした。ふれあいプラザでの「のどじまん」では12組の出演者がかわいいコスチュームで得意の歌を披露、最後の抽せん会には胸をドキドキさせながら当るのをまっています。準備した昼食の販売も、お昼時間をまたずに完売しました。(村田民雄)

キッズフォトコンテスト

7回目を迎えた写真展、今回は子どもが撮った写真展を企画しました。テーマを、「家族・友だち」とし、そこには、レンズを通して家族・友だちの輪を感じ再確認できたらなあという思いをこめました。期待に反して応募数はあまりなく途中から参加料を無料にしてみました。効果はありませんでした。広報を保育園や小学校を中心にしたほうがなど、今後の参考になることもいくつか見えてきました。生涯学習フェスティバルの際に、参加者の方に、かわいいで賞・なかよして賞等とネーミングした賞が贈呈されました。（長瀬京子）



よい楽しい合唱団をめざして

けやきジュニア合唱団



コンサートを目前にして練習にはげむ団員（中部小学校で）

10月3日に第2回目のコンサートを開きました。その後の子どもたちの姿に、大きな変化が見られる様になりました。目標に向かって、発足以来最高になった16名の団員が、心を一つにして、やり遂げた喜びと自信の現れとします。歌の向上はもちろんの事、仲間同士の絆をより深め、今年度は地域とのつながりを広めていく事を目標にして、楽しい良い合唱団をめざしていきます。

なお、発足以来5年にわたって指導いただいた植松素子先生から阿部美穂子先生にバトンタッチすることになりました。植松先生ありがとうございました。阿部先生よろしくお願ひします。（鈴木茂子）

タントシニア楽々クラブ



子育てサロンや各地区での移動サロンを始めて5年になります。各地区でのサークルやグループが誕生しました。今年度はシニアを中心にした楽しい楽しいクラブを立ち上げいつまでも若々しく生きるため、脳の活性化を取り入れた楽しい歌、リズム運動や仲間との出会いを大切に脳の低下予防に取り組みました。生涯学習フェスティバルでは「手話ハンドベル」に挑戦発表し、会員の皆さんは充実感を味わう事が出来ました。（奥山奥子）

有意義だった大崎市での研修

まちづくり部会では、10月13日まちづくりを積極的にすすめている宮城県大崎市の市民活動サポートセンターを訪ねました。センターからは色々な取り組みをわかりやすく説明いただき、活動の広さ、やる気、活気を感じ取ることが出来ました。また市内のNPOの皆さんも参加したことで、新しい視点での考え方やNPOの意義を再確認できた有意義な一日でした。（武田忠史）



「源氏物語講座」第六期終了

本年度の講座も2月8日の第10回をもって最終回となりました。思えば薫風のおよきに開校を迎え、弾む気持ちを胸に秘めて学ぶことの心地よさを体験してきた1年でした。

本講座がタントクルセンターの開館とともに芸術文化部の事業として誕生し、6年という時間を大場先生と共有出来たことは、受講者にとってこの上ない喜びであり財産であります。

(吉田和子)



最終講義終了後、大場先生を囲んで記念撮影（2月8日）

平成22年度「組織強化事業」について



「NPO法人きらりよしじま」の高橋事務局長を迎えて研修会（7月14日）

平成22年度は組織強化事業として、各種研修を企画しました。外部講師を招いてのワークショップや他のNPO団体の視察など、刺激的な年になりました。こうした研修会は、NPO法人の為だけでなく各人の将来への糧となるものです。そこで育まれた「思い」、その思いを大切にし、夢を描きながらこれからの「クリエイトひがしね」を築いていけるでしょう。こうした活動が、これからのみのりある人生へ結びつくことを願っています。（伊勢 博）



質問家マツダヒロ氏を迎えてのワークショップ「部下のやる気を引き出す質問力講座」（2月9日）



「こどものあそび標語」コンクール表彰式（1月9日）と「標語集」「あそびの徹底研究」

編集後記



★今号から芸術文化・情報部会による編集部を立ち上げました。

写真は、皆さんからいただいた原稿・写真データをそれぞれのパソコンで共有し、ワードの講習をかねての編集会議の様子です。一石二鳥を狙った編集会議でしたが、同じワードでもバージョンの違いでスムーズな共有による作成に至らず、悪戦苦闘の第1回目でした。これから一步一步成長しながら、各部会、委託事業など活動を反映した「クリエイトニュース」をめざします。（M）